



MS153-47005 ハイレスポンスマフラー

‘10.04～新規制対応商品 取付・取扱要領書

この度はTRDハイレスポンスマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記商品の取付け取扱い要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは登録後に行ってください。

■品番・適合

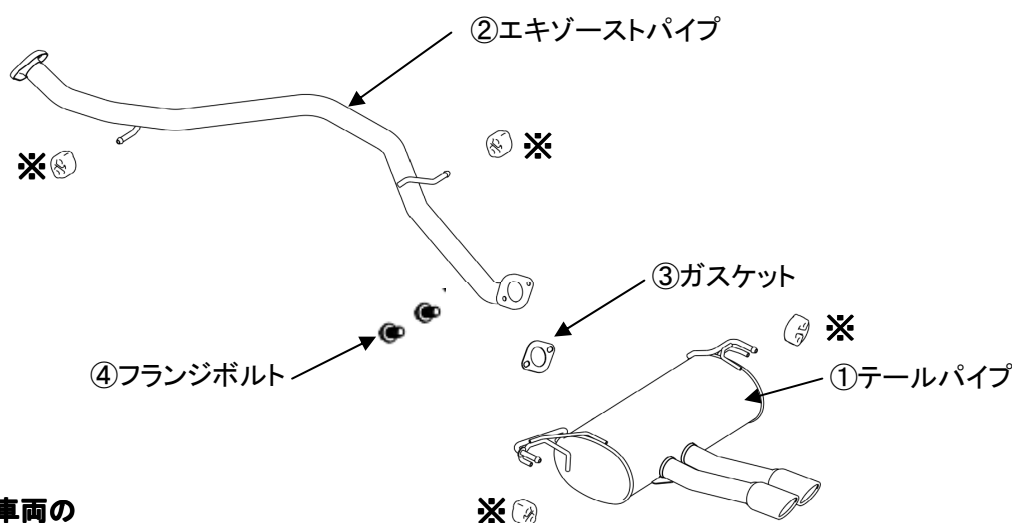
品 番	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS153-47005	プリウス PHV	ZVW52	’16.12～	

- ※1 開封時に必ず構成部品が揃っていること、及び、外観にキズ、凹み等が無いことを確認してください。
取付け後の不具合が判明しましても対応しかねる場合がございます。
- ※2 本商品の取付けには純正リヤバンパー及び、リヤアンダーカバーの一部削除が必要となります。
同梱のマフラーガーニッシュ(52705-ZW540)との同時装着が必須となります。
ハイレスポンスマフラー装着の際は、マフラーガーニッシュの取付けを先に行ってください。
- ※3 センターパイプガasket(17451-23042)は同梱されていません。新品を手配の上、交換してください。
- ※4 最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp>

■構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	テールパイプ		1	
②	エキゾーストパイプ		1	
③	ガasket		1	テール×エキゾースト
④	フランジボルト(テール×エキゾースト用)		2	M10×1.25 L20
⑤	取付・取扱説明書(本書)		1	
⑥	マフラーガーニッシュ	52705-ZW540	1	同梱箱入

■構成図



※マフラーサポートゴムは車両の
純正部品を再使用します。

取付け上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承ください。
- (2) 保安基準適合の為、純正部品と同様に触媒やシールド等を取外さず必ず、適合車種に取付けてください。



警告



車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高 90 mm**を確保してください。
(灯火類の地上高についても確認を実施してください。)



車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高 90 mm**の確保を行ってください。



本商品の分解・加工は絶対にしないでください。破損や事故の原因となる場合があります。
本品を適合車種以外には絶対に使用しないでください。破損や故障の原因となる場合があります。



注意



本商品の取付け・交換作業は、必ずトヨタ販売店で行ってください。



交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。



交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行ってください。火傷や事故の原因となる場合があります。



取付け後は換気の良い所でエンジンを始動し、排気漏れや干渉が無い事を必ず確認してください。
正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。

■本商品は1年・20,000Kmの保証を実施いたします。(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- 警告（１）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高 90 mm**を確保してください。
（灯火類の地上高に付きましても確認を実施してください）
- 警告（２）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず、**現車にて最低地上高 90 mm**の確保を行ってください。
- 注意（１）取付け直後の走行時、多少の異臭発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない場合は取付けの工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- 注意（２）本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまでは安全な速度で十分注意して走行してください。事故の原因となる場合があります。
- 注意（３）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないでください。火災や事故の原因となる場合があります。
- 注意（４）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、お取付けのトヨタ販売店に連絡をして指示を受けてください。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となる場合があります。
- 注意（５）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は、速やかに洗浄を行ってください。付着したままでご使用になれますとマフラーの変色や錆の原因となります。
- 注意（６）通常の使用過程に於いても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、色味に変化が現れる場合がありますが、異常ではございません。
- 注意（７）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。触れると火傷の恐れがあります。荷物の出入れやお子様の接近等、十分に注意してください。

■仕様

エキゾーストパイプ：パイプ径 51.0mm（SUS材）
テールパイプ：バッフル部 70.0mm（SUS材）

■作業時の注意

純正マフラーサポート取外しの際に、潤滑剤を使用した場合、そのまま使用すると走行時に横方向の強い力（横G）が加わった場合、マフラーとボデーが干渉する可能性があります。
マフラーサポートの脱着時に潤滑剤を使用する絶対におやめください。
脱着時に潤滑材を使用した場合は、完全に潤滑材を除去してください。

■マフラーガーニッシュの取付

- （１）同梱のマフラーガーニッシュを付属の要領書に従い、リヤバンパーに取付ける。
※マフラーガーニッシュの取付けは、必ずハイレスポンスマフラー装着前に行ってください。

■取付要領

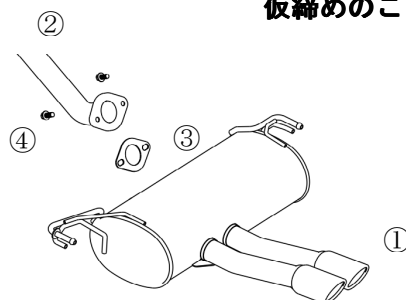
- （１）純正のテールパイプを修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従って取外す。

△ 注意：車両側パイプとの締結ボルト類、サポートゴムは車両部品を再使用します。

- (2) 図1のように、テールパイプ①とエキゾーストパイプ②をガスケット③を介し、フランジボルト④を使用して仮締めで組付ける。

図 1

※ここでの組付けはガスケットを潰さない程度に仮締めのこと。



- (3) マフラーASSYを、車両部品のマフラーサポートに取付け、新品の純正ガスケット(17451-23042 別売り)を介して、車両部品のビス類を使用して仮締めで車両に取付ける。

- (4) マフラーASSYとボデーに干渉が無いこと、テールパイプ出口位置がバンパーと一定のスキになっていることを確認して、作業2・3で仮締めした締結部を規定トルクで本締めする。

【テール×エキゾースト部：締付トルク29.0N・m】

【車両×マフラーASSY：締付トルク43.0N・m】

- (5) 装着後、走行する前にアイドリング状態で排気漏れが無いことを確認し、15分程の暖機運転を行った後、5Km程度の走行を実施し、各部ボルトの緩み、テール部の位置に変化が無いことを確認してください。

■取付け後の確認

- ・装着後は、定期的（定期点検時等）に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。



5 2 7 0 5 - Z W 5 4 0

マフラーガーニッシュ

取付・取扱要領書

この度はTRDプリウス用マフラーガーニッシュをお買い上げいただきありがとうございます。
 本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
 なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

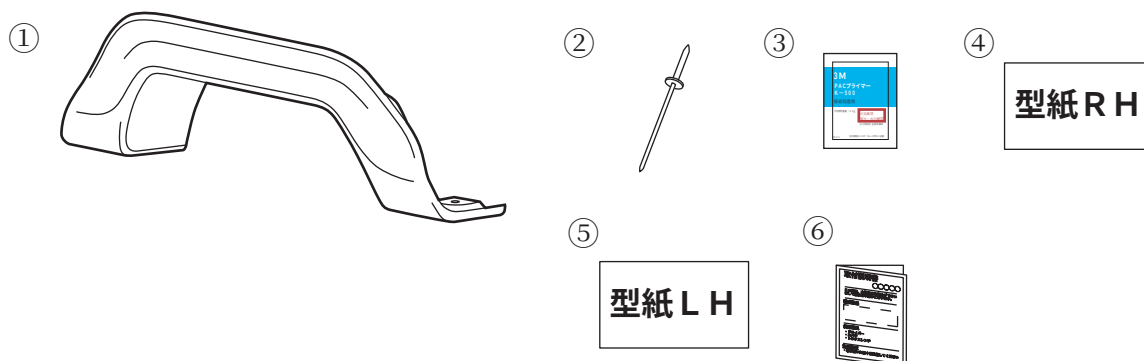
品番	塗装色	備考
52705-ZW540	つや消し黒	プリウス PHV ZVW52

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

Nº	品 名	個数	備考
①	マフラーガーニッシュ	1	
②	リベット	2	
③	PACプライマー	1	
④	型紙RH	1	
⑤	型紙LH	1	
⑥	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊙ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊙ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(I P A)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊙ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 取付けご注意(作業の方へ)・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け要領・・・・・・・・ 3
4. 取付け要領・・・・・・・・・・・・・・ 3～6
5. 取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・ 6

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、エアソー等）・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図

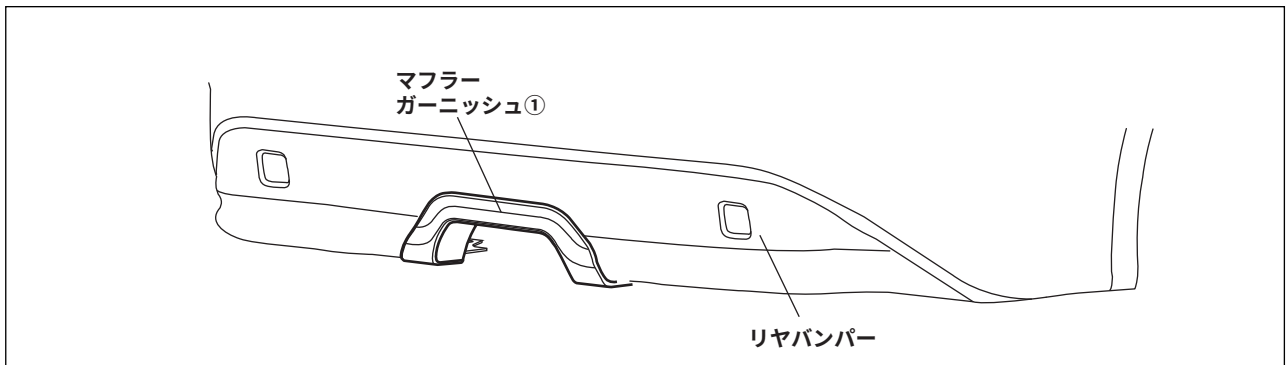
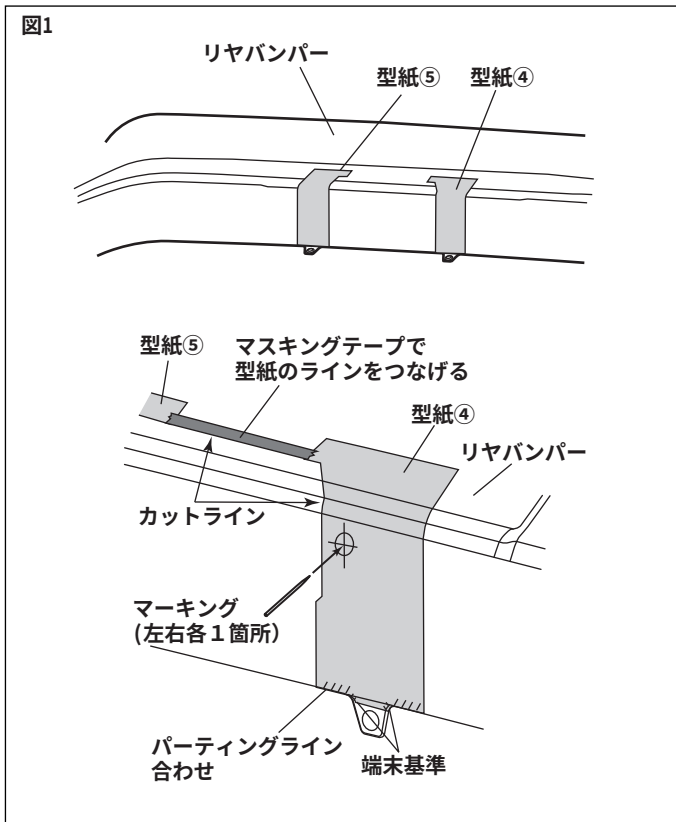


図1



□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパーを取り外す。

⚠注意：取り外した車両部品は再使用します。

2. 図1のように型紙④⑤を切り取り、斜線部をそれぞれ下面形状に合わせて貼り付ける。
3. 型紙④⑤の穴あけ位置をマーキングする。
(左右各1箇所)
4. 型紙④⑤のカットラインをエアソー等でカットして、バリを取り除く。

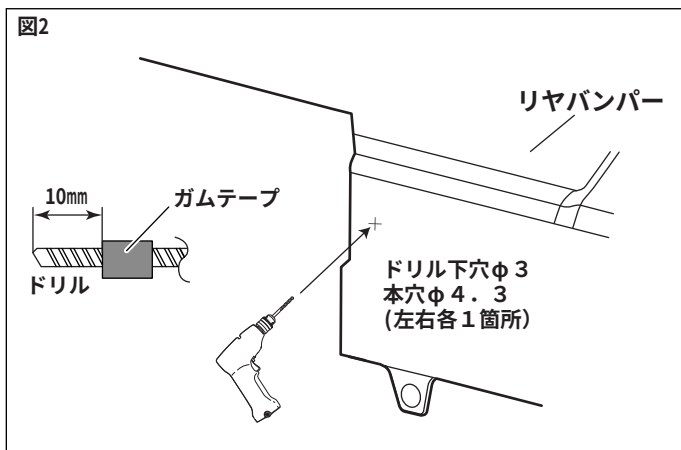
⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

⚠注意：バリを取除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取除いてください。

5. マフラーガーニッシュ①をリヤバンパーに仮合わせを行いカット部と干渉が無いこと、穴あけ位置のマーキング位置ズレが無いことを確認する。

💡アドバイス：マーキング位置が異なる場合は、マーキングをやり直してください。

図2



6. 図2のように、ドリルの先端にガムテープを巻きつけストッパーを作り、マーキング位置に、φ3のドリルで下穴開ける。
 7. φ4.3のドリルを使用して本穴をあけてバリを取り除く。

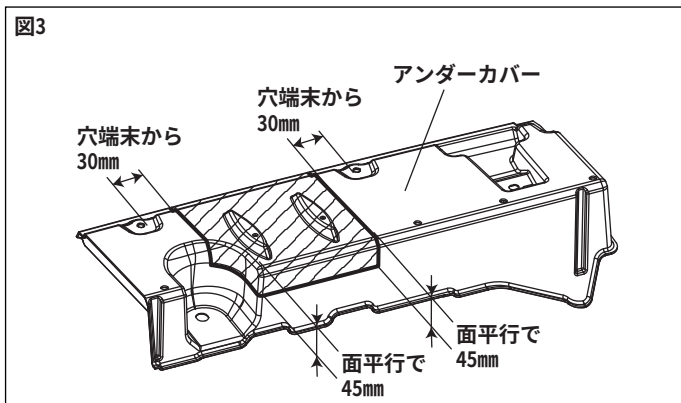
(左右各1箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意：作業時は保護メガネを着用してください。

注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図3



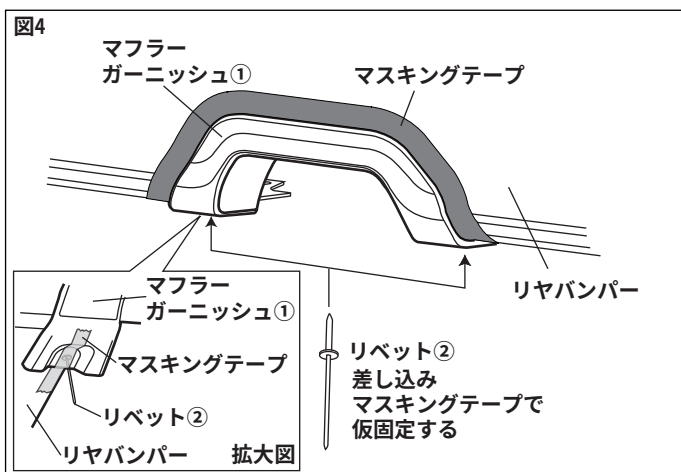
8. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤアンダーカバーを取り外す。
 9. 図3のように、アンダーカバーの各部を計測し、斜線部をエアソー等でカットしてバリを取り除く。

注意：カットする際に、怪我に注意してください。又、アンダーカバーへの傷つきに注意してください。

注意：バリを取除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取除いてください。

10. 該当車両の修理書に従い、リヤバンパーを車両に取り付ける。

図4



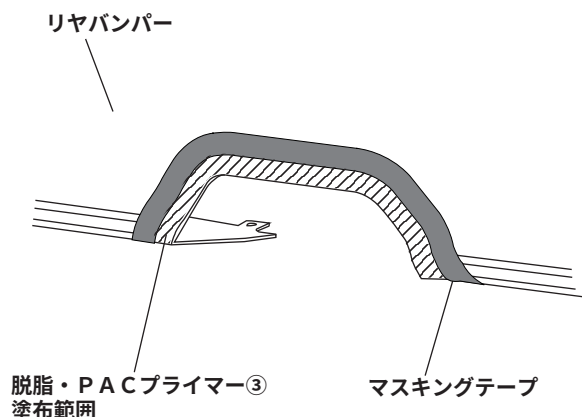
11. 図4のようにマフラーガーニッシュ①をリヤバンパーにかぶせ、下面をリベット②にて仮固定する。

(左右各1箇所)

注意：この作業時は、リベット②は打ち込まないでください。

12. マフラーガーニッシュ①とリヤバンパーにスキが無い確認しながら、ガムテープ等で仮固定し、外周をマスキングテープでマスキングし、マフラーガーニッシュ①を取り外す。

図5



13. 図5のようにリヤバンパーのマフラーガーニッシュ①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

14. 図5のようにマスキングテープの内側をPACプライマーK-500③を塗布する。

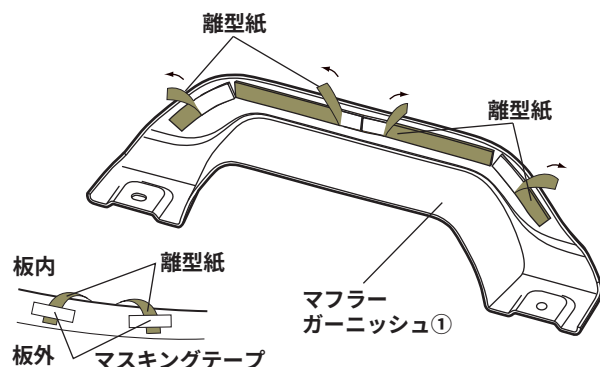
⚠ 警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

⚠ 注意：プライマーがボディーに付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取って下さい。

⚠ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残ると、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図6



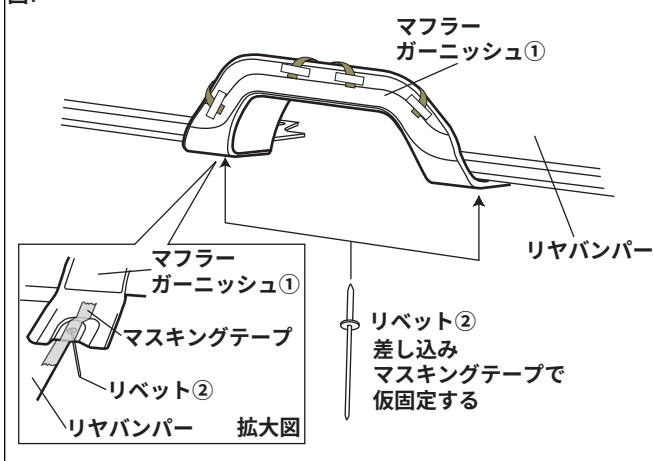
□取付要領

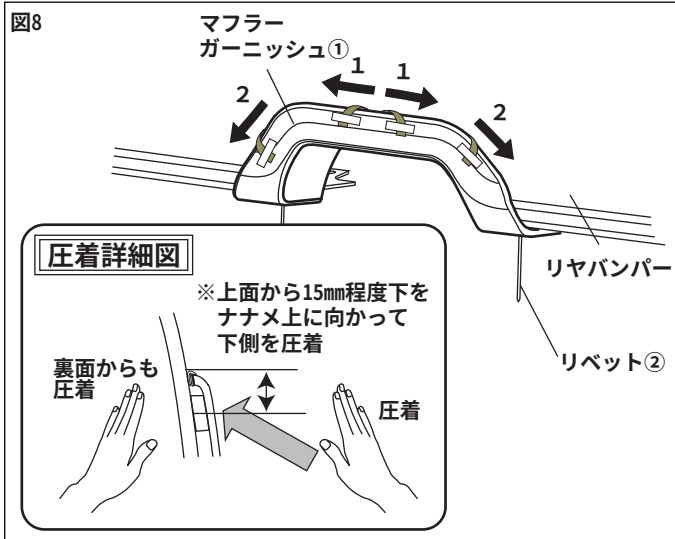
1. 図6のようにマフラーガーニッシュ①の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がして、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各2箇所)

2. マフラーガーニッシュ①をリヤバンパーにかぶせ、下面をリベット②にて仮固定する。
(左右各1箇所)

⚠ 注意：この作業時は、リベット②は打ち込まないでください。

図7





3. 図8のようにマフラーガーニッシュ①とリヤバンパーにスキが無いを確認し、両面テープの離型紙を左図番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。

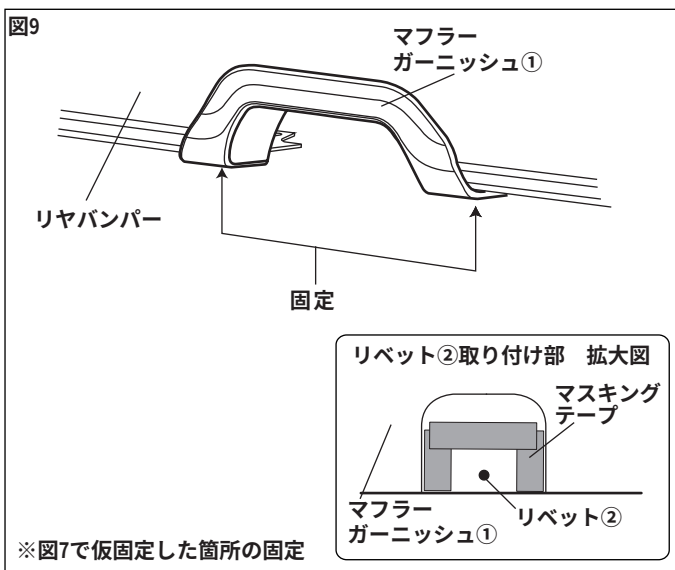
(左右各2箇所)
{49N (5kgf) 以上}

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



4. マスキングテープを剥がし、図9のようにリベット②取り付け部周辺のマフラーガーニッシュ①をマスキングテープ等でマスキングします。

(左右各1箇所)

5. リベット②でマフラーガーニッシュ①とリヤバンパーを固定します。

(左右各1箇所)

6. 該当車両の修理書に従い、リヤアンダーカバーを車両に取り付ける。

■取付完了後の点検・注意事項

1. マフラーガーニッシュがリベットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. マフラーガーニッシュ及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。